

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	防砂マップ作成事業					
事業の概要	旧加悦町においては平成16年の台風23号において多大なる災害を被ることとなった。これを受け、現在の災害に対する対応策を改めて見直し、台風や地震などの災害に強いまちづくりを推進していく上での第一歩として、避難地、災害発生時の対応方法や心得等を掲載した防災マップを作成・配布し、非常時に迅速な対応ができるよう統一的な防災意識を浸透させるものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	598	本年度事業費	598	交付金交付額	299
事業の必要性	非常時においては、有線告知放送の活用だけでは災害状況の周知等が不十分であったことが先の災害で明らかとなり、事前に行政と地域住民が避難場所等について共通の認識を持つことの必要性を、改めて体感することとなった。この行政と住民との認識差を埋めるため、本事業は災害対策上非常に重要なものである。					
事業の有効性	避難場所、災害への備え等がわかりやすくまとめられており、これを活用することにより、災害に直面した際の迅速な対応の一助となり、住民の貴重な生命、財産を守ることができる。					
事業の効率性						
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果 当マップには災害時の対応や備え等が記されており、これを活用することで防災意識の向上に資する。また、地域住民が防災情報を共有することで、災害発生時の迅速な対応や避難が行える体制を整えることができる。					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。